

管路内面切削機

◇◆ 部分切削・全面切削・全断面切削・木根切削 ◆◇

短時間

低コスト

安全

確実

本機はケーブル入線の際に既設の管路を有効利用する為、管路内部の段差・突起を切削し、薬液等の流入物を除去することで開削工事を行わず、低コストで管路を復元するためのものです。対象管路はφ90mm～φ125mmでガイドやブレードを交換することでさまざまな管路に対応でき、異常の状況に応じて切削機本体を交換します。段差等は部分切削機、薬液等は全面切削機など状況に応じて交換し対応できます。



部分切削用



全面切削用



全断面切削用



木根切削用

(関西電力㈱大阪北P/O地中送電課 共同開発)

【部分切削機】

・異常箇所をピンポイントで切削することが可能で段差・ワイヤーずれ等の突起を滑らかに削り取ることでケーブル入線時にケーブルの裂傷を防ぐことができます。

【全面切削機】

・全面切削機は、まず『粗削り用切削ブレード(薬液除去用)』を使用し、『段差』『灰汁・薬液等の流入物』等を削り取り、そして粗削りした箇所を『研磨用切削ブレード』で再度切削することで、管路内に残った削りカスを粉碎し粗削りの切削表面を仕上げ、『ブラシ引き』又は『管路内洗浄』を行い細かな削りカスなどを排出します。

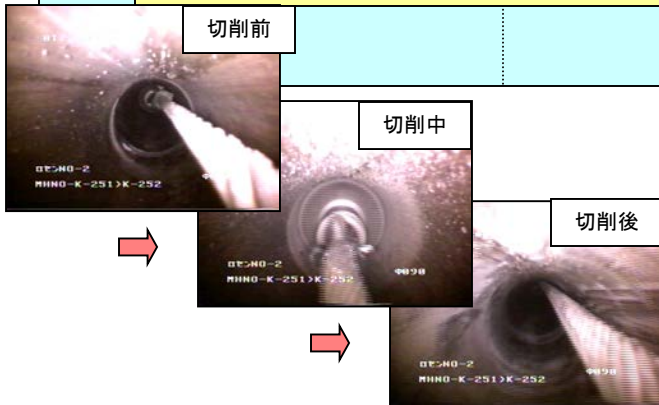
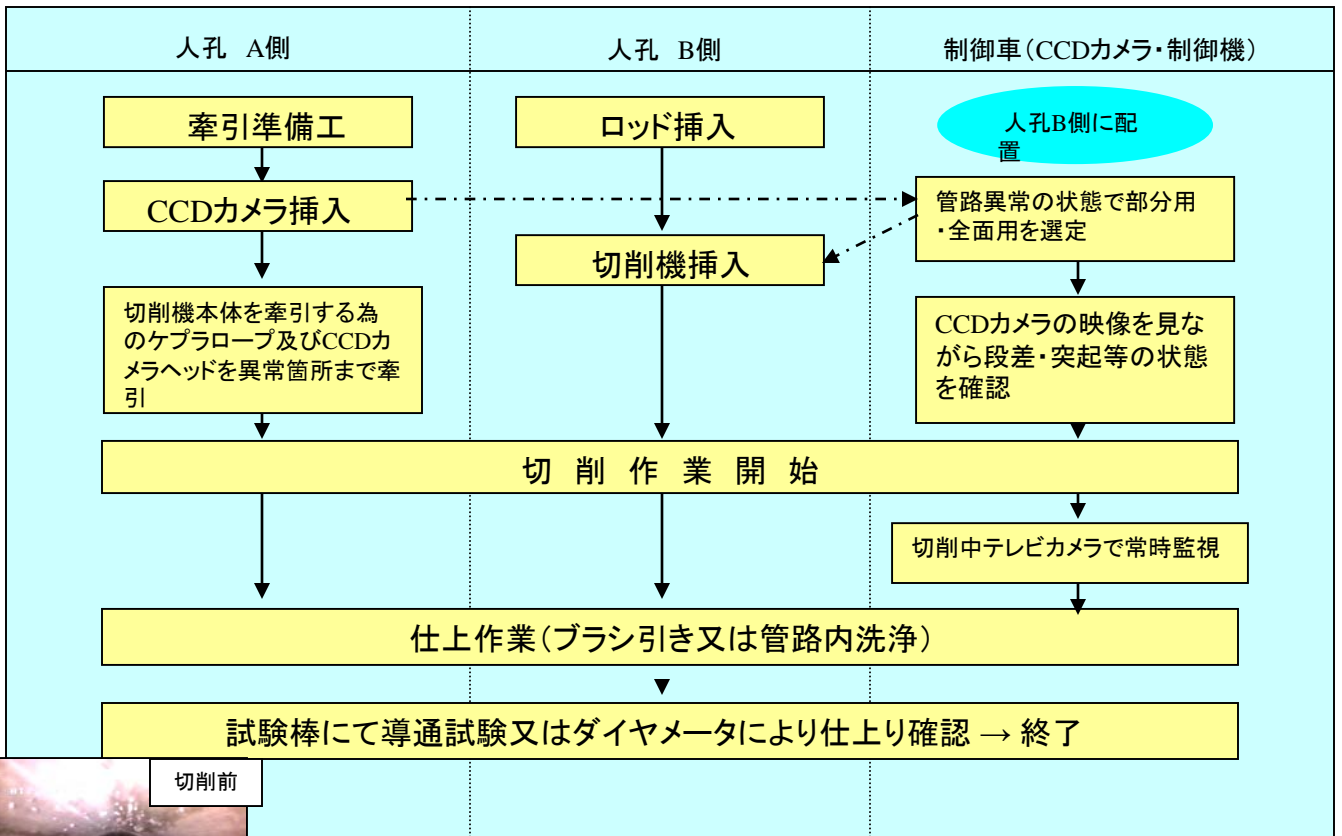
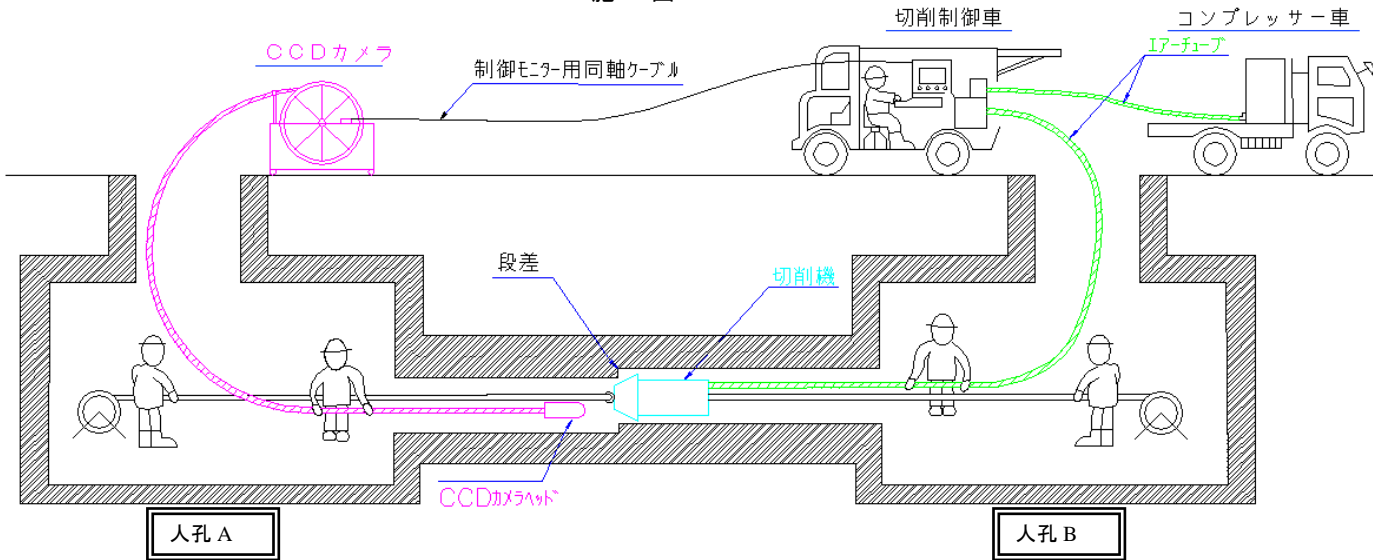
【全断面切削機】

・異形管の継目部分の管内の切削が可能です。また、曲り管路等のワイヤーズレや段差など管径の状況に応じた切削が可能です。

【木根切削機】

・木根の様な柔らかいものは機械の回転と同方向に逃げるため、切削が非常に困難であることが実験により判明しています。柔らかい根っ子に対してはノコギリの様に引き切るものでなくてはならず、当社では木根等柔軟物用切削刃により切断が可能です。

施工図



仕様

項目	部分切削機	全面切削機	
対象管路	φ125・100mm/m	φ90~150mm	
許容段差	40mm	5~20mm	
切削部俯仰	0~約40度		
切削部回転	360度		
切削ブレード	35m/m	120・95m/m	87・85m/m
ブレード回転数	約2万回/分	約1千回/分	